

「カンムリワシの里と森の会」(準備会)

山崎雅毅、栗林実

講演会・「石垣リゾート&コミュニティー計画」の諸問題・カンムリワシと自然、暮らしへの  
影響

講師・公益財団法人世界自然保護基金(WWF)ジャパン 小田倫子氏

「石垣リゾート&コミュニティー計画」(以下「計画」と呼ぶ)の内実をよく理解されている WWF の小田倫子氏の講演を計画しました。

前勢岳北麓で計画される「リゾート計画」の規模をご存知ですか。ホテル・宿泊施設の 571 室に加え、ゴルフのロングコース 18H を併設、戸建てビラを含め一棟を除く全てのホテルにプールがつく豪華リゾート施設です。

しかし、本計画では1日約 700t(年間 255,000t、東京ドーム 2 杯分)もの地下水を使用します。そんな大量の地下水を小さな前勢岳で維持することはできません。これは、(株)ユニマットプレシヤス社(以下「ユ社」と呼ぶ)自身も認めている**持続不可能な計画**なのです。(「環境影響評価報告書」参照)。

開発予定地の前勢岳北側の里と森には特別天然記念物、石垣市の鳥カンムリワシが生息しています。森に暮らす若鳥、営巣・子育て中のペア2組、餌場とするペアも2組と、少なくとも 10 羽以上が暮らす、カンムリワシにとってのかけがえのない「聖地」なのです。

石垣島にカンムリワシが生存可能な場所の空きはありません。カンムリワシはテリトリー意識が極めて強い鳥のため、彼らが前勢岳から追い出されればまず生きていけません。石垣島に生息するカンムリワシはわずか 200 羽未満といわれ、絶滅が危惧されています。そのうち少なくとも 10 羽が本計画により見殺しにされるのです。

大面積の「農振除外、農地転用」決定がさし迫っています。これを止めなければ石垣島の自然と、農畜産業を守ることができません。私たちは「カンムリワシの里と森の会」を結成し、カンムリワシの棲む環境を守ります。

活動を支援して頂き、「本計画」の危険性を理解されている WWF の小田倫子氏の講演を計画しました。是非聞きに来てください。

なお、講演後、「カンムリワシの里と森の会」結成の予定です。

主催 カンムリワシの里と森の会準備会

日時 10月23日(日)午後7時15分～9時30分頃

講師 小田倫子氏 WWF ジャパン野生生物グループ・南西諸島担当

場所 大浜信泉記念館 ホール

入場無料

連絡先 山崎雅毅 090-6785-8692